

研 修 名	26. 問題発見・解決能力向上研修 ～S I法（構造的洞察法）を、企業・NPOとともに学ぶ～	
目 的	様々な視点から業務に内在する問題を発見し、その解決法を案出する力を高める。	
内 容	(1)問題解決の技法・方法論「S I法」を習得する。 (2)自治体の事例について、研修参加者の相互啓発を行いながら、個人分析、グループ分析、全体討議を行う。 (3)実際の職場の問題の個人分析、グループ討議、全体討議を行う。	
実 施 年 月 日	平成30年 7月17日（火）～18日（水）	
対 象 者 ・ 定 員	【市町村職員・NPO・企業との合同研修】 ・係長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する県職員 12名 ・係長級の市町村職員 12名 ・NPO・企業の社員 12名	
研 修 講 師 (講師プロフィール)	株式会社自己啓発協会 代表取締役 川上 史明 氏（かわかみ ふみあき） 1959年生まれ 1981年 玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科卒業 1990年 株式会社経営開発協会を経て、 株式会社自己啓発協会入社 2000年 株式会社自己啓発協会代表取締役  戦略思考による問題解決能力（S I法）の開発を専門としている。 □玉川大学工学部非常勤講師、中小企業大学校講師	
受 講 者 の 声 ※昨年度の受講者分	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の方も参加されており、行政職員とは違う視点からの多様な意見を聞くことができ、大変参考になった。 ・S I法を用いて問題を構造化することで、客観的に分析し、解決に向けて論理的に対策を立てられる力が身についたと思う。 ・問題が起こっていない状況でもこの考え方を活用すれば、リスクマネジメントに繋がると感じた。 ・業務において様々な問題が発生するが、今後は原因分析を行い、当面の対策だけで終わることのないよう、学んだことを活用していきたい。 	

【日程表】

8:30		9:00		9:10		12:00		13:00		16:45		18:30	
1 日 目	受 付	オ リ エン テー ション	1 講義 SI法による問題解決				昼 食	2 事例研究(自治体ケース) (1)問題形成 (2)意思決定 (個人分析) (グループ分析) (全体討議)				意見 交換 会	
			3 職場問題の分析 (1)問題形成 (個人分析) (グループ内発表) (代表者発表・全体討議)					3 職場問題の分析 4 まとめ (2)意思決定 (個人分析) (グループ内発表) (代表者発表・全体討議)					
2 日 目	受 付	3 職場問題の分析 (1)問題形成 (個人分析) (グループ内発表) (代表者発表・全体討議)				昼 食	3 職場問題の分析 4 まとめ (2)意思決定 (個人分析) (グループ内発表) (代表者発表・全体討議)				ア ン ケ ー ト ・ 閉 講		
		8:30 9:00					12:00 13:00					16:30 16:45	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。